取扱説明書
（10m・12mセット用）

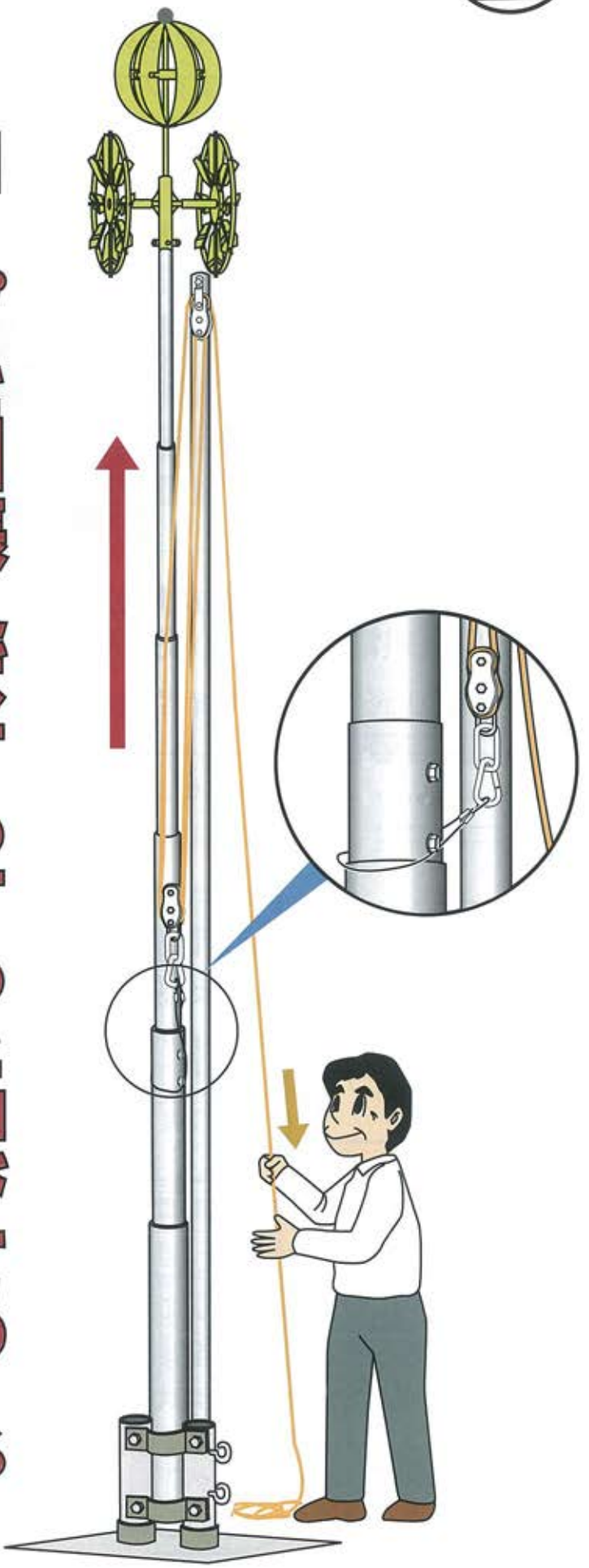
新考案

PAT.取得済

ニュースルスルポール

安全に16mポールでも2人で上げられます

ロープを引張ればするすると伸びてゆく。



このたびは当社製品「鯉のぼりポール」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しい順序に従って組み立ててください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

スルスル装置付き鯉のぼりポールの特徴

1. 安全　立てる時、倒す時の危険がありません。
2. 強度　杭を２本使用しますので、立てた後も抜群の強さを保ちます。
3. 労力　設置する時の所用人数は、大人（おとな）２人で充分にできます。
4. 修理　万一鯉のぼりがポールに絡んだ時でも、簡単に直せます。
5. 場所　狭い場所でも簡単に設置することができます。

安全上の注意

⚠ 危険

アルミ製ですので、電線に触れる恐れのある場所には、絶対に設置しないで下さい。（感電する恐れがあります。）

●鯉のぼりが泳いだ時、電線や植木、建物に触れないように充分気を付けて下さい

⚠ 警告

●強風時や雨天の場合、設置及び解体は行わないで下さい。
●乳幼児がそばにいる時は、設置及び解体は行わないで下さい。
●スコップ、金属板、ボルトナットなどを使用しますので、必ず手袋を着用して設置及び解体を行ってください。

⚠ 注意

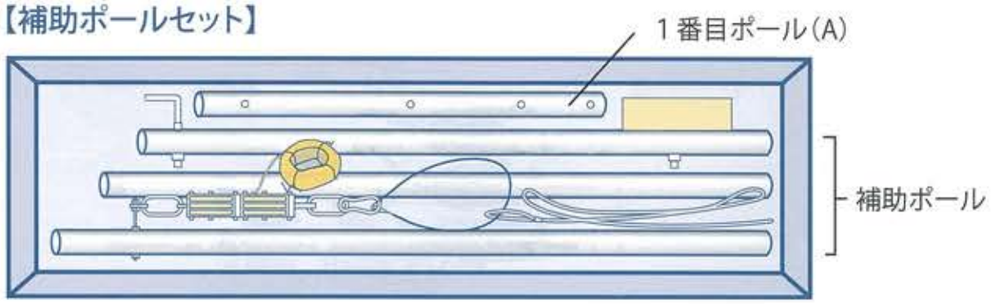
●本体ポールや補助ポールに強い衝撃を与えないで下さい。
●湿気のある所や潮風の当たる場所には保管しないで下さい。
●汚れの付いたまま保管しないでください
●ポールに取り付ける鯉のぼりや吹き流しの点数は６点以下で、その長さは最長のものでポール本体の長さの１／２以下にして下さい。
●矢車などはポールに適したものを選んで下さい。

セット内容と付属品の名前

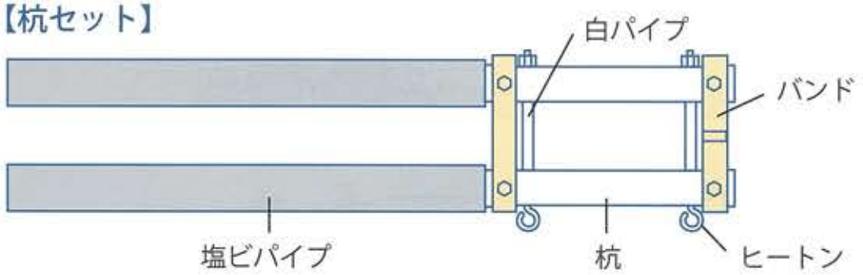
※セット内容は10mポールセットになります。

【本体ポール】

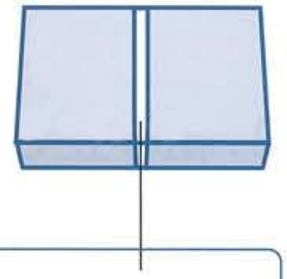
【補助ポールセット】

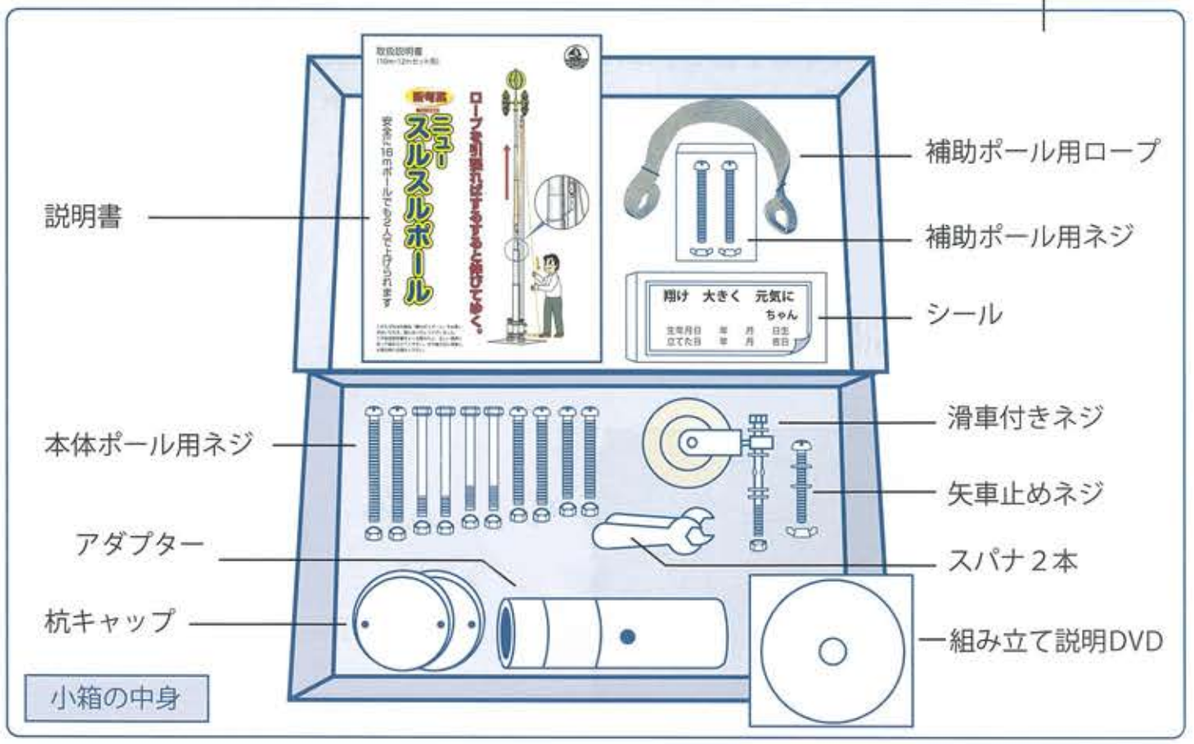


【杭セット】



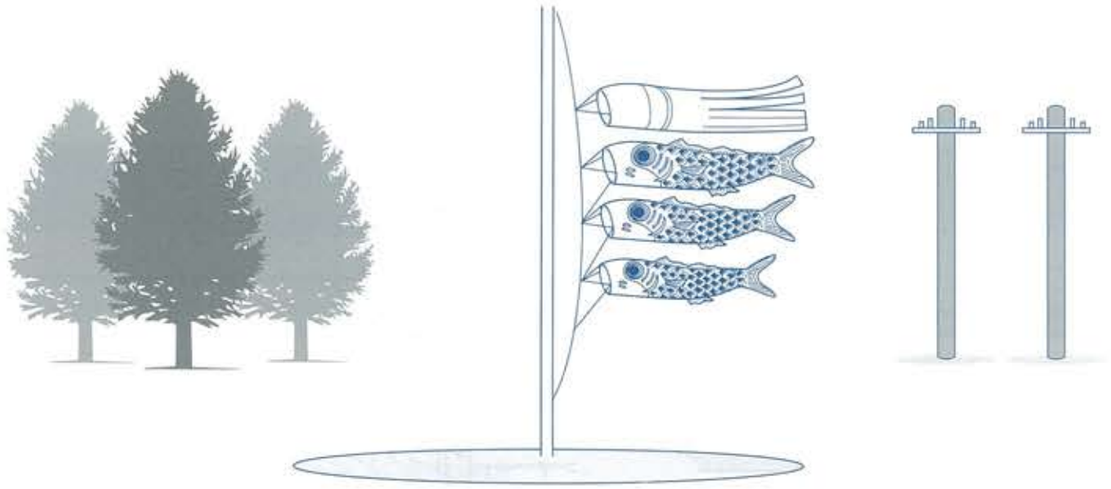
【小箱】





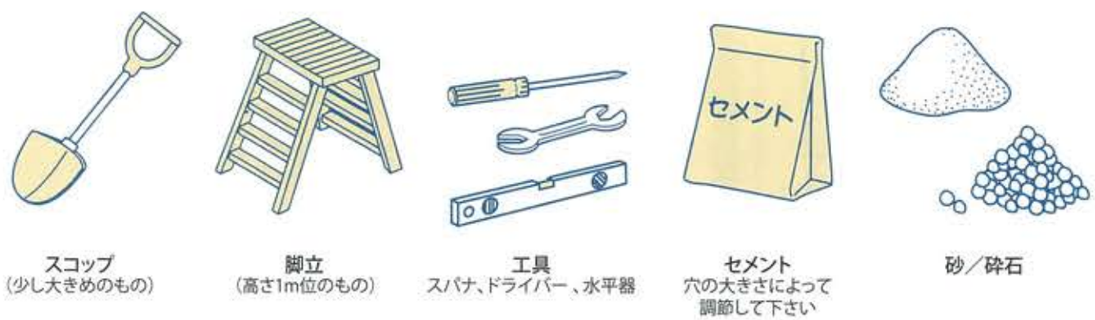
1. 設置場所を決める

鯉のぼりが空中に泳いだ時に、電線や植木、建物などに接触しない場所に立てます。



2. 組み立てに必要な道具

組み立てる時には次のようなものを用意して下さい。
※安全のため、作業は大人２人で行ってください。



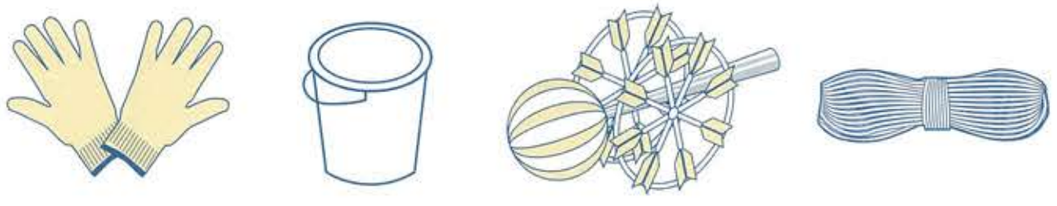
スコップ
（少し大きめのもの）

脚立
（高さ1m位のもの）

工具
スパナ、ドライバー、水平器

セメント
穴の大きさによって
調節して下さい

砂／砕石



軍手

バケツ

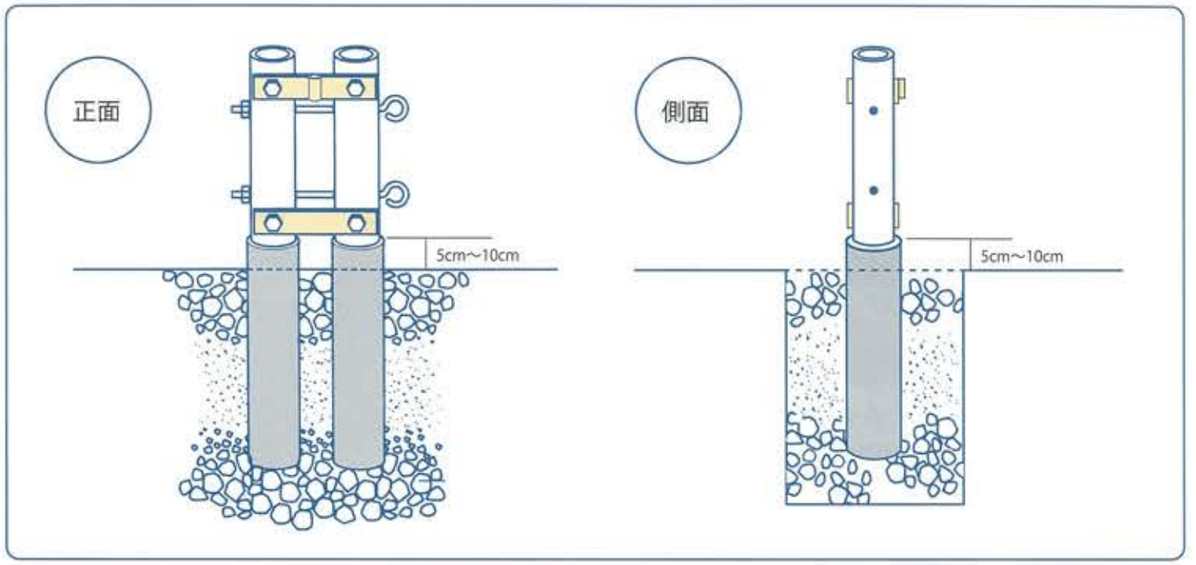
矢車

鯉のぼり用ロープ

※矢車・鯉のぼり用ロープは本体に入っておりません。

1. 設置の準備（設置スペースの確保）

設置には十分な空間と、直径約 0.8m ～0.9m の穴が必要になります。



2. 基礎の作成

塩ビパイプが地上に約 5cm～10cm 出るように穴を掘ります。

穴を掘る

穴の深さはポールのサイズによって異なります。詳しくは表をご覧ください。

サイズ	穴の深さ	穴の直径
10m	約 0.8m	約 0.8m
12m	約 0.8m	約 0.9m

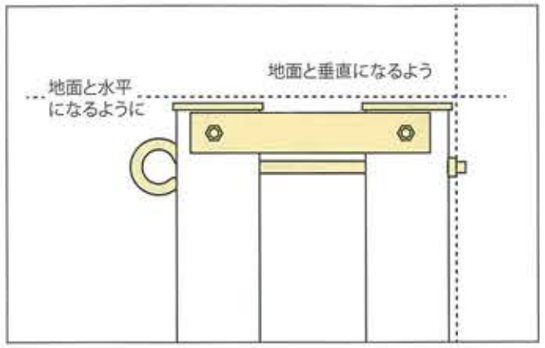
穴に砕石を敷く

掘った穴に砕石を入れて
底を平にします。

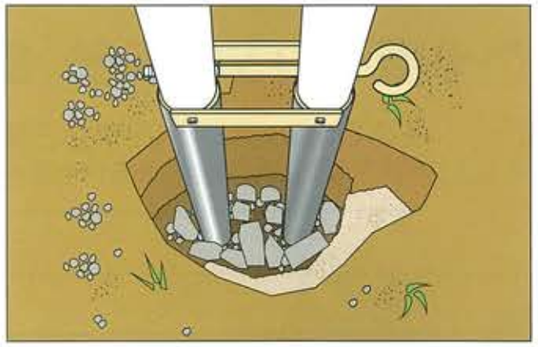
3.杭の設置

穴が完成したら杭セットを設置します。杭が地面と水平・垂直になるように設置してください。

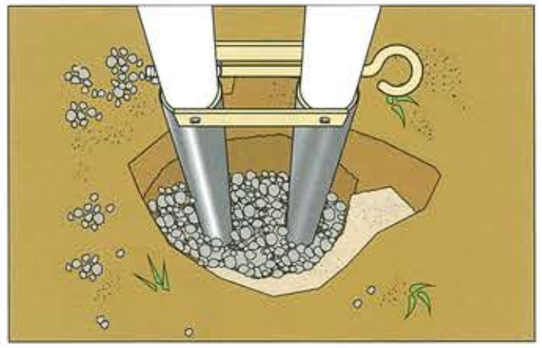
杭セットを穴に入れます。
（塩ビパイプが地上に約 5cm~10cm出るようにします。）



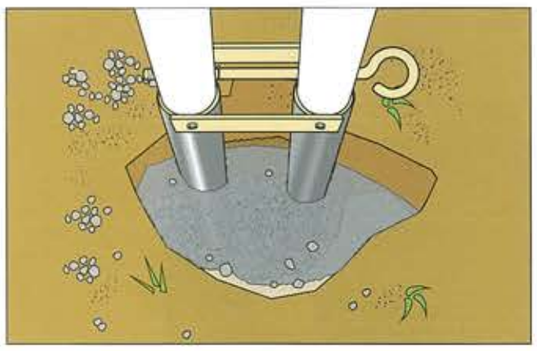
地面と水平・垂直になるように設置してください。



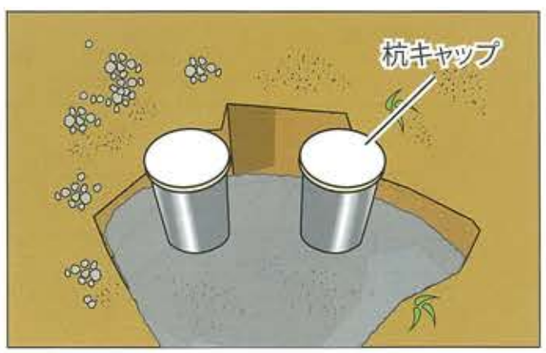
穴に大きな石を入れます。



穴に砕石を再度いれます。



コンクリートを流し込みます



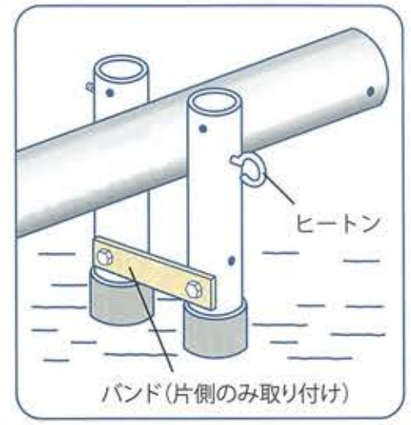
コンクリートを流し終えたら杭を引き抜きます。
雨やゴミが入らないよう杭キャップをかぶせます。

1.ポール最下部を杭に取り付けます。

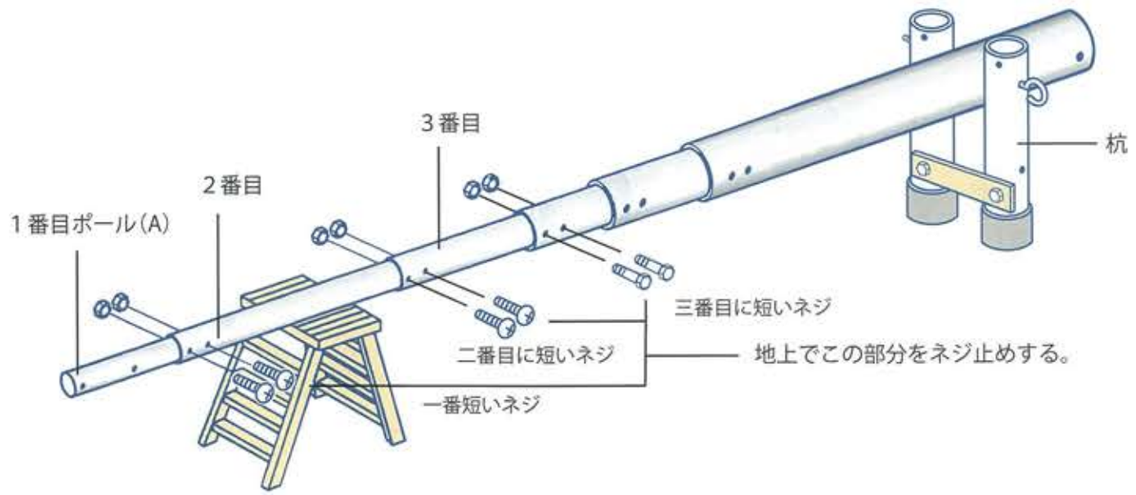
セメントが十分に乾き塩ビパイプが固定された後、下図の様にポール最下部をヒートンで杭の上側の穴に固定します。

●ポールを起こしやすいようにヒートンはゆる目に締めます。またポールが反対側に倒れるのを防ぐため、右図のようにバンドは片側のみ取り付けます。

●ヒートンに付いている白いパイプは杭の埋込み時のみに使います。



2.脚立を使用し、ポール1・2・3番目をポールセットから取り出して下図の通り適寸のネジで止めます。

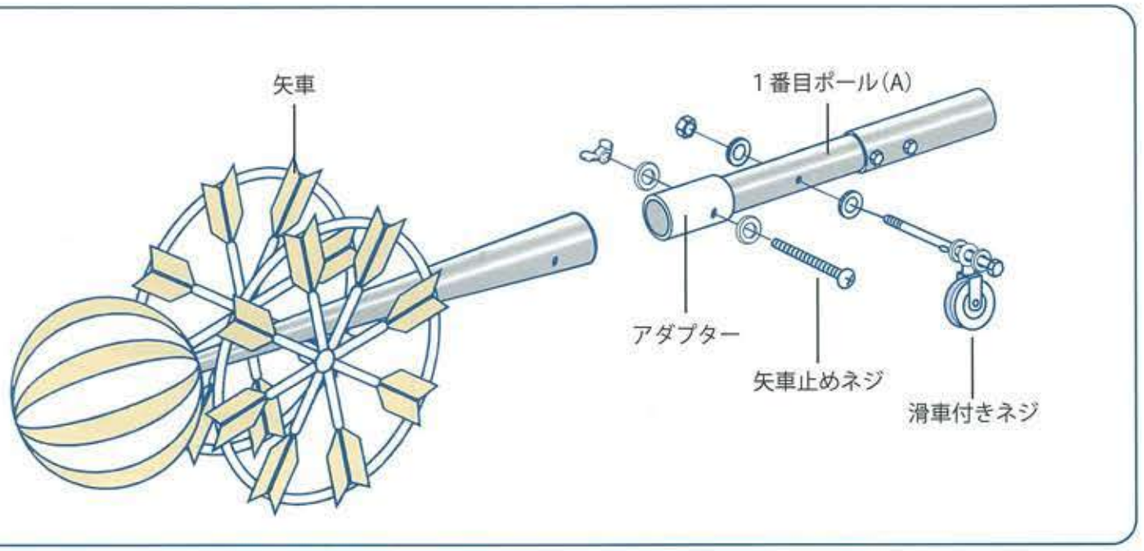


※1番目ポール（A）は2個の2に入っています。

地上での組み立て全長は、10m、12mセットともに8m（矢車部分も含む）

3. 滑車付きネジを取り付け矢車を固定

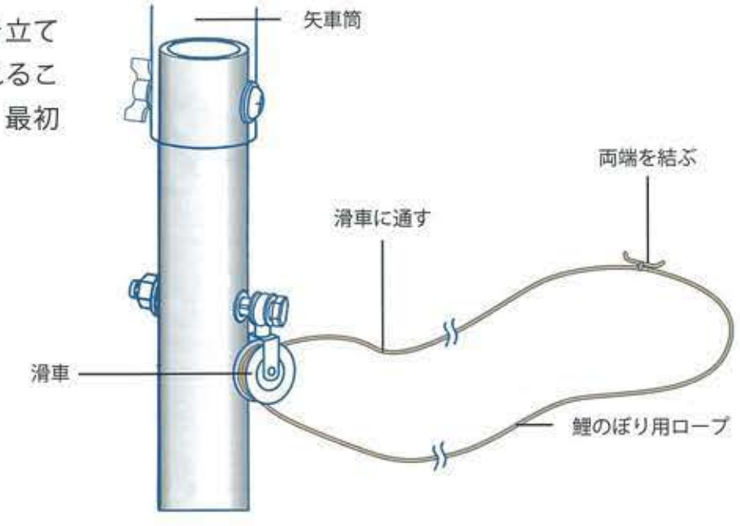
１番目ポール(A)にアダプターを使用し、滑車付きネジを取り付け、矢車を差し込み、矢車止めネジで固定します。



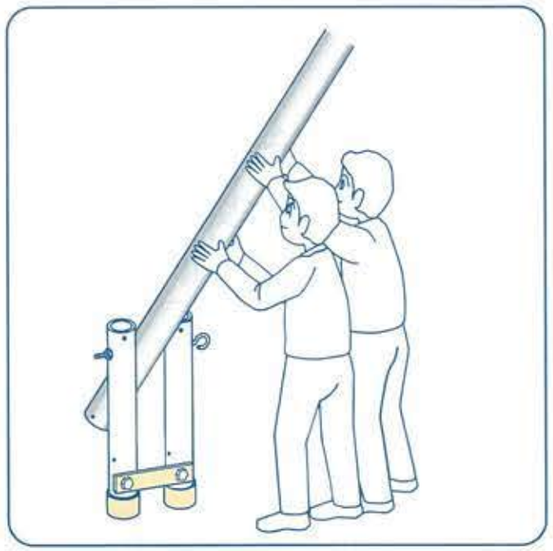
4. 鯉のぼり用ロープの取り付け

滑車に鯉のぼり用ロープを通し、必ず両端はしっかりと結びます。

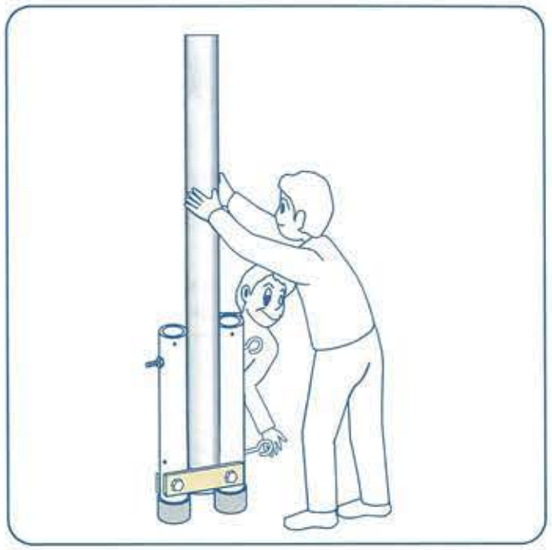
結び目が解けると、ポールを立てた時にロープが滑車から外れることがあります。その場合は、最初からやり直して下さい。



1. ポールを起こす



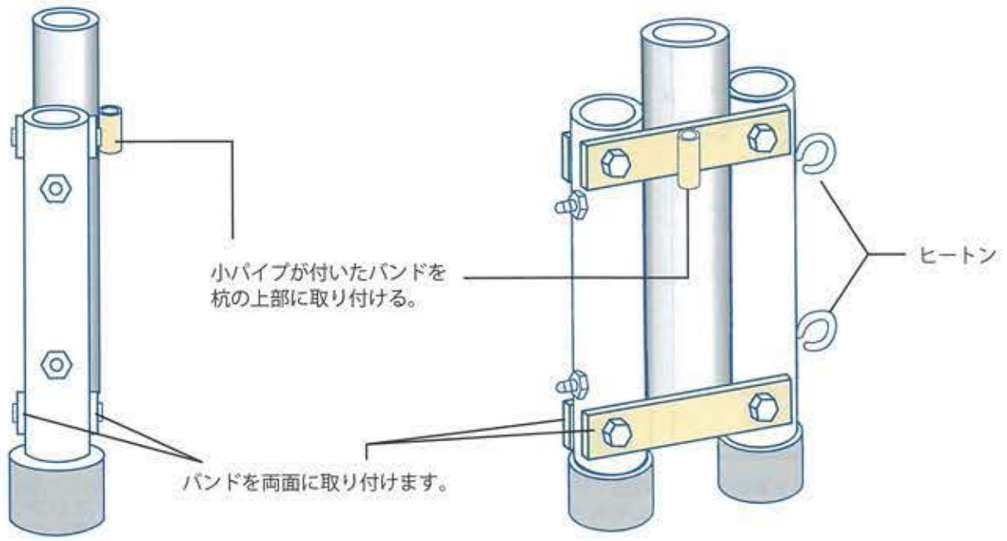
２人で慎重にポールを起こします。



１人がポールを支え、他の人がポール最下部にヒートンで２カ所をしっかりと固定します。

2. バンドを杭に取り付ける

残り３枚のバンドを杭に取り付けます。小パイプが付いたバンドは、杭の上部に取り付けてください。

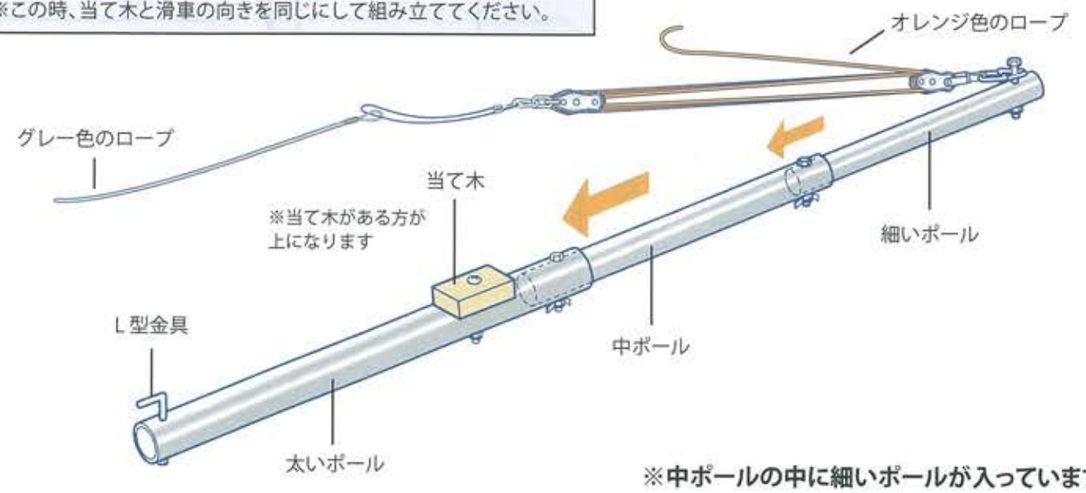


スルスル装置の設置

1. スルスル装置（補助ポール）を設置する

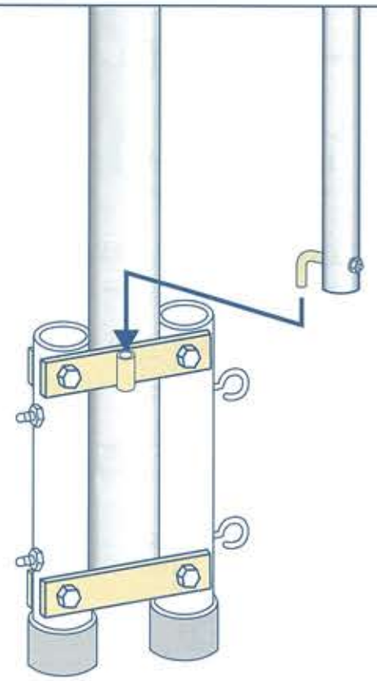
太さの異なる３本のポールを下図のように組み立てます。

※この時、当て木と滑車の向きを同じにして組み立ててください。

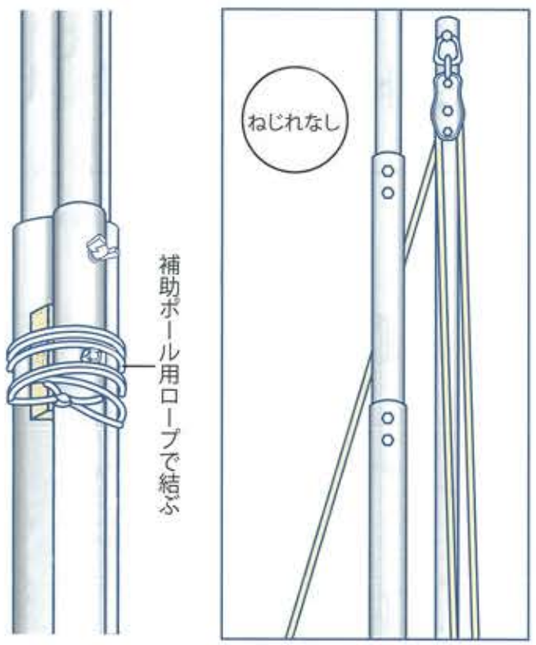


※中ポールの中に細いポールが入っています。

2. スルスル装置を取り付ける

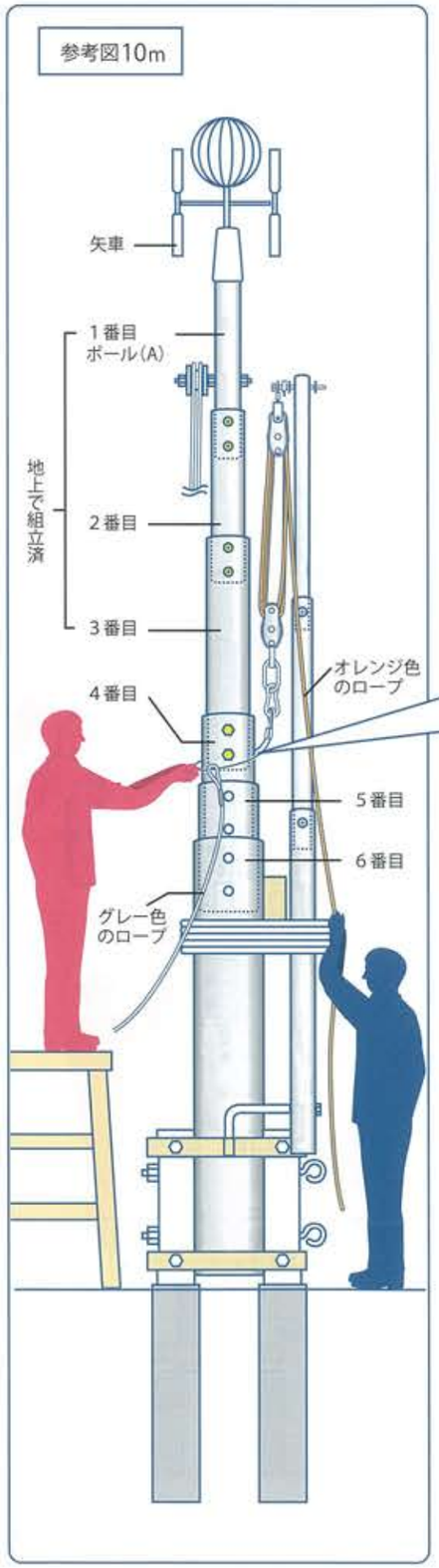


杭に取り付けたバンドの小パイプにL字型金具を差し込みます。



付属の補助ポール用ロープで補助ポールと本体ポールをしっかりと結びます。この時、オレンジ色のロープにねじれのないよう設置してください。

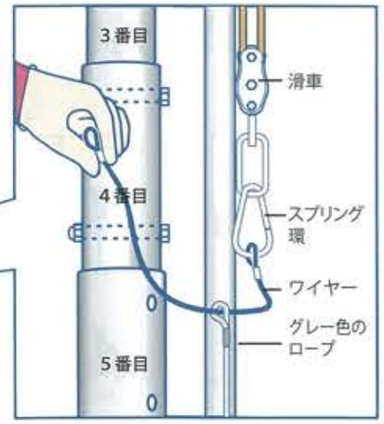
ポールの伸ばし方 その１



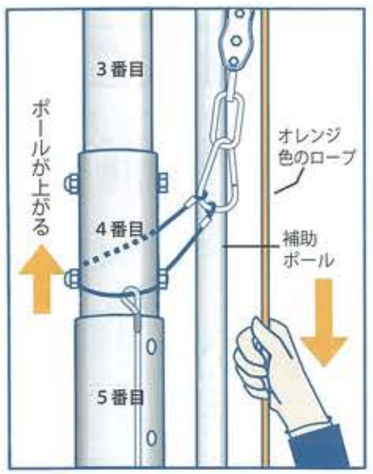
1. 細いポールから順番に伸ばす（上から４番目のポールを伸ばす）

ここからの作業は、必ず軍手をご着用ください。

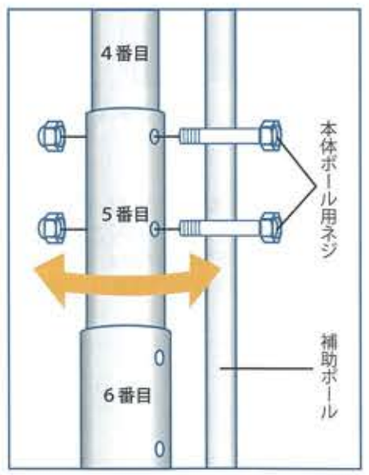
ポールを伸ばします（スルスル装置を使います）スルスル装置は、補助ポールの滑車を利用して、上からポールを１本ずつ吊り上げる方法です。



スプリング環からワイヤーの片方を外し、ポールに巻きつけてネジにひっかけます。



スルスル装置に付いているオレンジ色のロープを引っ張ると４番目のポールが上がります。

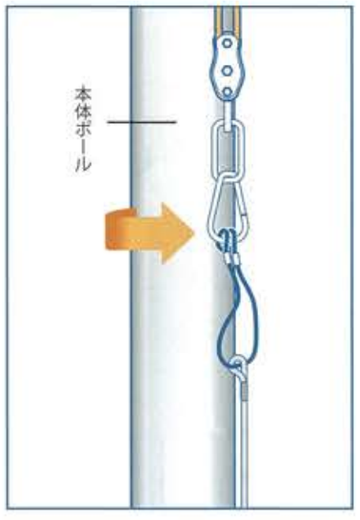


４番目のポールのネジ穴と５番目のポールのネジ穴を合わせ２カ所をネジで固定します。

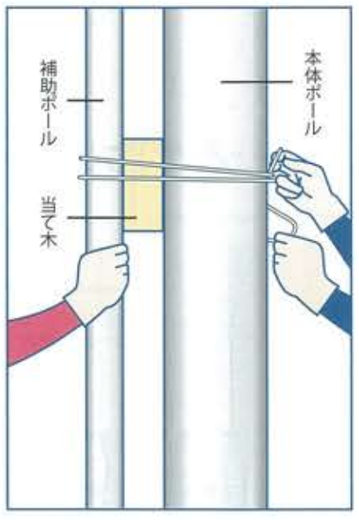
ポールの伸ばし方 その2

2.ワイヤーを次のボルトにひっかけ、同じ手順をすべてのポールを伸ばし終えるまで繰り返し行ってください。
10Mは2回、12Mは3回繰り返す必要があります。

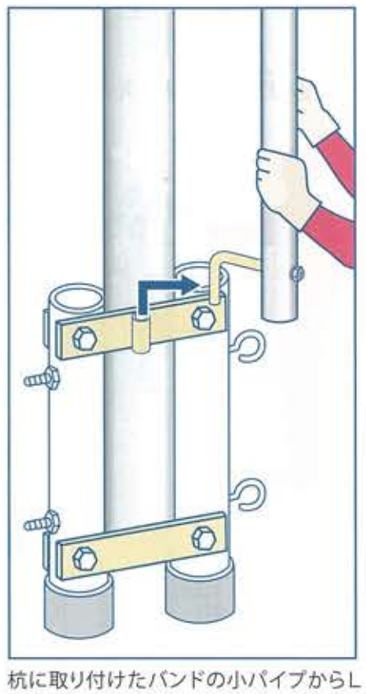
3.すべてのポールを伸ばし終えたら、
スルスル装置を取り外します。



本体ポールからワイヤーをとりはずします。

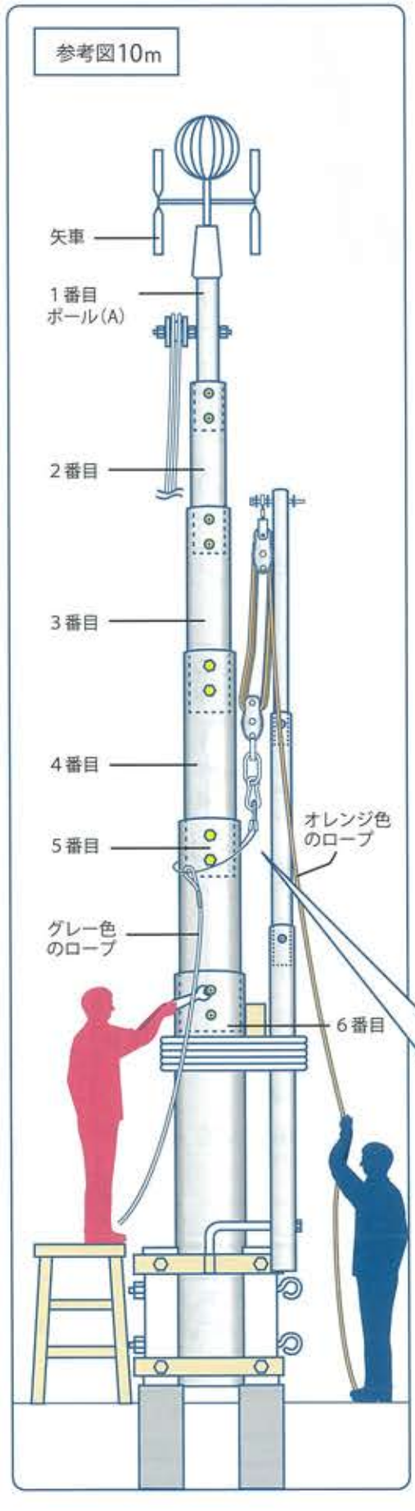


補助ポールと本体ポールを結んでいる補助ポール用ロープをほどきます。ひとりが補助ポールを支えてください。



杭に取り付けたバンドの小パイプからL字型金具を取り外します。

ポールの降ろし方 1

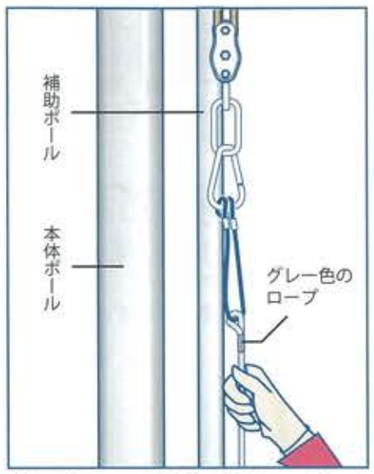


1.スルスル装置(補助ポール)を組み立て、本体ポールに取り付ける。

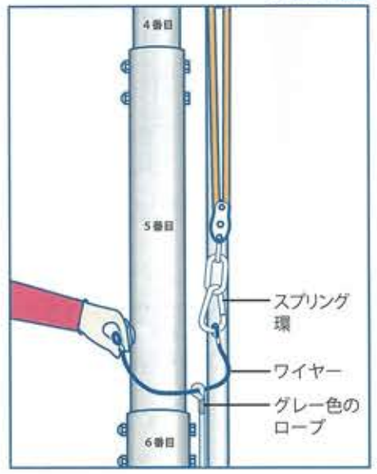
※P.10 を参照して下さい

2.太いポールから順に本体ポールを降ろしていきます。

参考図10m

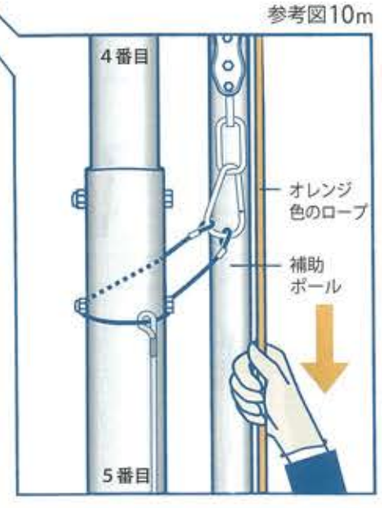


グレー色のロープを引っ張り、ワイヤーを引き降ろします。



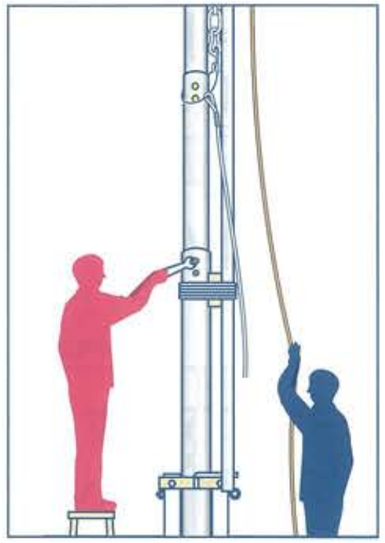
スプリング環からワイヤーの片方を外し5番目のポールに巻きつけます。
(12Mの場合は6番目のポールのネジにひっかけます。)

参考図10m

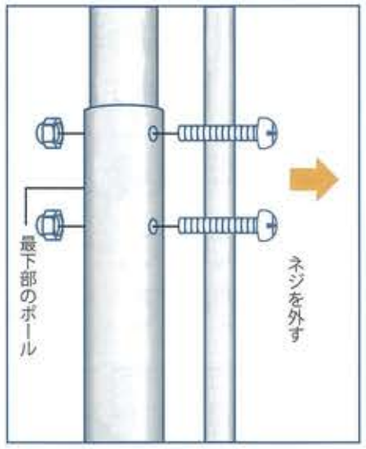


オレンジ色のロープを引き上げ、ワイヤーがネジにひっかかった事を確認し、5番目のポールを吊り上げます。
(12Mの場合は6番目のポールを吊り上げます。)

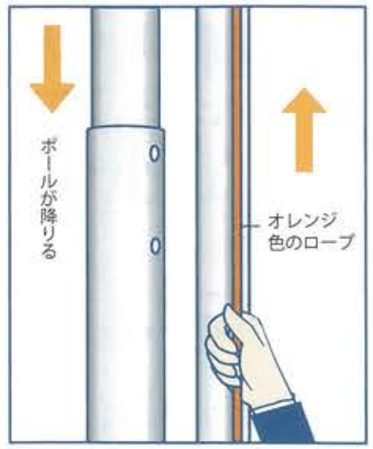
ポールの降ろし方 2



ポールを吊り上げた状態で、オレンジ色のロープを保持します。



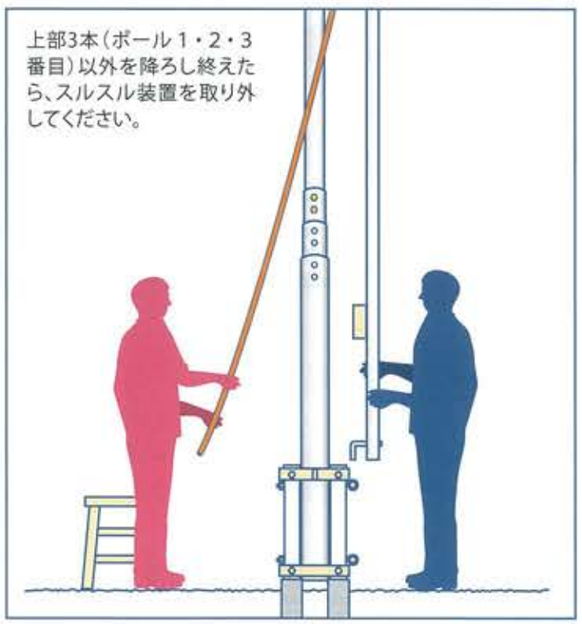
ネジに負荷がかかっていない状態で、ネジを外します。

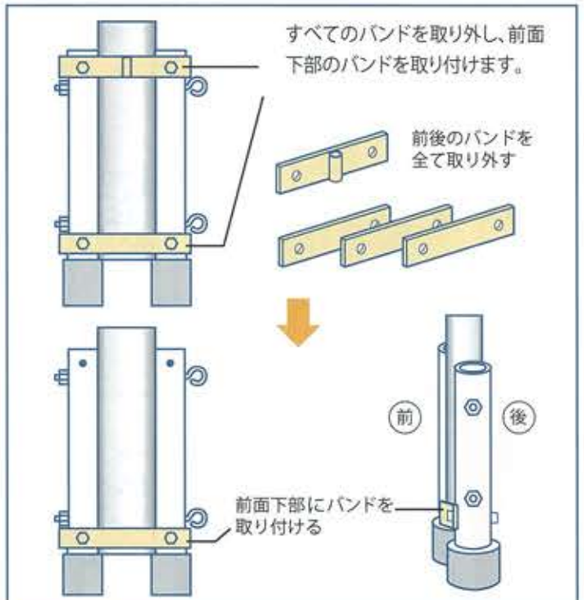


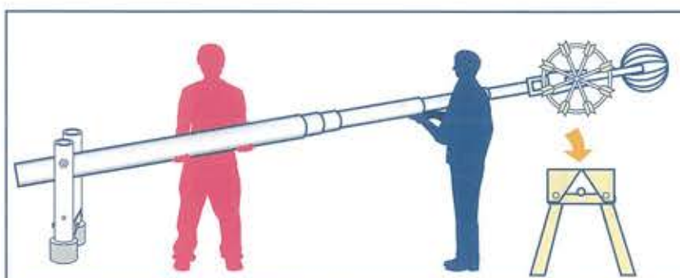
オレンジ色のロープを持つ手を緩めてください。ポールが降りてきます。

再度ワイヤーをネジにひっかけ、同じ作業を繰り返し行います。

上部3本（ポール１・２・３番目）以外を降ろし終えたら、スルスル装置を取り外してください。



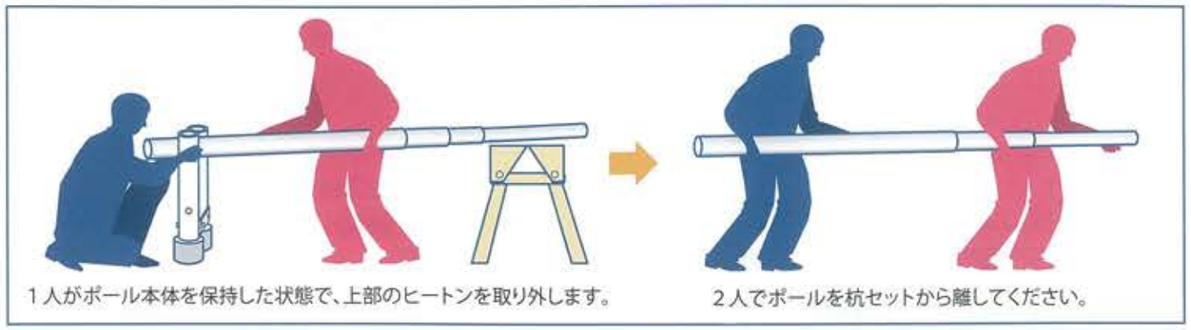




１人がポールを支えた状態で、下部のヒートンを取り外します。脚立を使用して、２人で慎重にポールを倒してください。

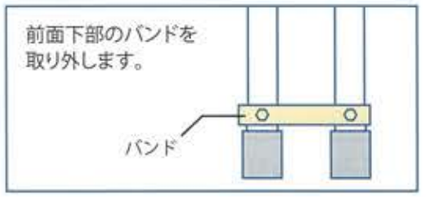
ネジを外し終えたら、細いポールを太いポールに差し込みます。

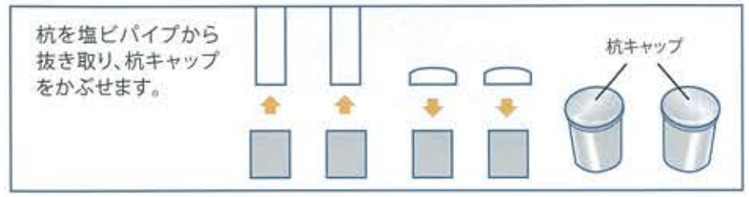
ポールの降ろし方 3　お手入れ・保管方法



１人がポール本体を保持した状態で、上部のヒートンを取り外します。

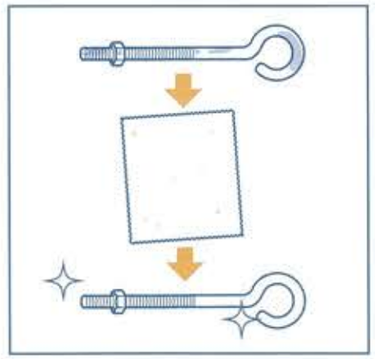
２人でポールを杭セットから離してください。



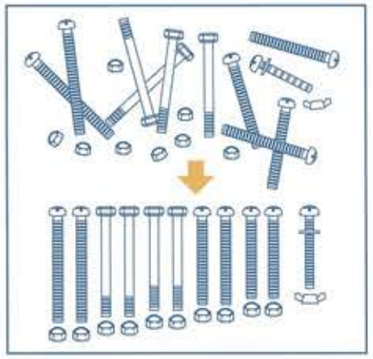


お手入れ方法

ご使用後は取り外した小さなネジ類をはじめ、他の部品類の汚れをよく落とし、乾いた布などで拭いて大切に保管して下さい。

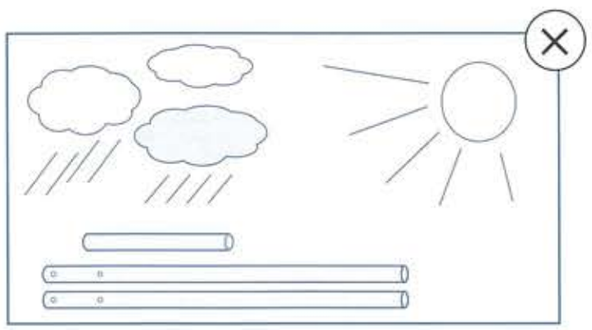


乾いた布などで汚れを落とす

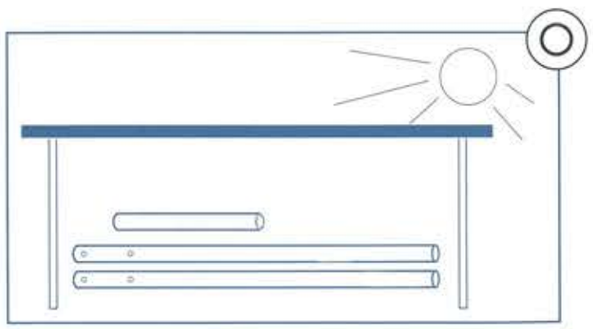


部品はまとめて保管する

保管方法



直射日光の当たる場所での保管はさける

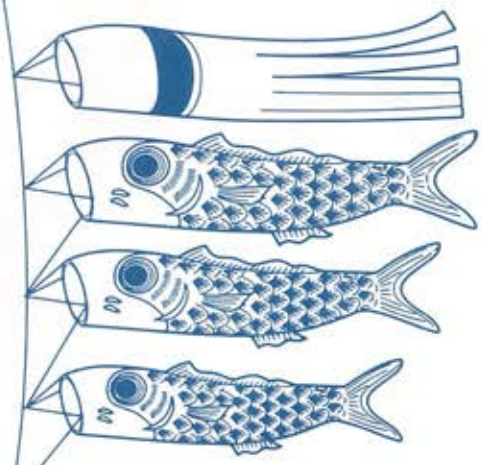


雨風をしのげる屋内で保管してください

付録

鯉のぼりの取り付け方

吹き流し、黒鯉、赤鯉、青鯉の間隔は、大きさにより異なりますが、5mの場合は約80cmの間隔が目安です。



万一、電線に触れた場合や鯉のぼり・吹流しが絡まった場合には、ポールや鯉のぼり・吹流し等には絶対に触れず、直ちに電力会社に通報して協力を得てください。

- 口金具はメーカーにより、多少異なります。それぞれ正しい取り付け方が記載されていますので、その方法に従ってください。
- 鯉のぼりが矢車やポールに絡んで元に戻せないときは、ご面倒でも補助ポールを取り付けてポールを一度おろしてください。安全のため必ず２人で作業してください。
- 風力５以上の場合は、安全のため鯉のぼりや吹流しは降ろしてください。

風　力	3	4	5	6
風　速	3.4～5.4	5.5～7.9	8.0～10.7	10.8～13.8
状　態	木の葉や枝が動く	紙くずが舞い、水面に波が少し立つ	小さな木の幹がゆれる	大きな木がゆれる 電線が鳴る時もある

動画での組み立て説明も行っております。
YOUTUBE内検索で以下のワードをご検索の上、ご覧ください。

スルスルポール　組立方法　検索

お問い合わせ先

木製塗り台・屏風・雛壇・矢車・ポール　その他節句付属品製造

株式会社　中須

〒557-0063　大阪市西成区南津守5-1-32
TEL.06(6656)0200(代)　FAX.06(6656)0300